

議会だより

平成22年(2010年)12月1日(水)

発行/旭市議会

編集/議会だより編集委員会

〒289-2595 旭市二の1920

☎0479(62)5304 FAX0479(62)5384

<http://www.city.asahi.lg.jp/>



大勢の人で賑わった旭市ふるさとまつり・ひかた2010

おもな内容

- ★議案内容と審査結果……………P 2～5
- ★第3回定例会の日程……………P 3
- ★議案質疑……………P 4～5
- ★決算の審査……………P 6～7
- ★一般質問……………P 8～13
- ★常任委員会の審査……………P 14～15
- ★陳情の審査結果……………P 15
- ★議会のうごき……………P 16

第3回定例会のあらまし

平成22年第3回定例会が、9月1日から9月22日までの22日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成21年度一般会計決算、特別会計決算や企業会計決算、平成22年度一般会計補正予算、病院事業会計補正予算、条例の一部改正など18議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり認定・可決・同意されました。

なお、一般質問は9月7・8日の2日間の日程で行われ、12人の議員が登壇し市政全般にわたって議論が展開されました。また、最終日の22日には、委員会から2件の発議案が提出され、いずれも全員賛成で原案のとおり可決されました。

平成22年
第3回定例会

財政調整基金積立金などの補正予算額9億1200万円を可決、
平成22年度旭市一般会計予算総額278億5900万円

議案の内容と審査結果

決 算

(平成21年度)

議案第1号から議案第10号までは、平成21年度各会計の決算の認定についてであり、監査委員の意見を付して議会の認定を求めるものです。

◇議案第1号

平成21年度旭市一般会計決算の認定について (認定)

歳入総額288億8871万8493円、歳出総額は272億4840万6976円となり、翌年度へ繰り越すべき財源1億8877万8273円を差し引いた実質収支は、14億5153万3244円となりました。

◇議案第2号

平成21年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について (認定)

事業勘定は、歳入総額84億1533万2101円、歳出総額83億9350万6

544円、差し引き2182万5557円となりました。施設勘定は、歳入総額8459万9431円、歳出総額6870万6322円、差し引き1589万3109円となりました。

◇議案第3号

平成21年度旭市老人保健特別会計決算の認定について (認定)

歳入総額9324万4050円、歳出総額6045万9777円、差し引き3278万4273円となりました。

◇議案第4号

平成21年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について (認定)

歳入総額3億9972万3450円、歳出総額3億8694万6469円、差し引き1277万6981円となりました。

◇議案第5号

平成21年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について (認定)

歳入総額36億1951万6826円、歳出総額35億9000万9301円、差し引き2950万7525円となりました。

◇議案第6号

平成21年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について (認定)

歳入総額10億8261万3696円、歳出総額10億525万9060円、差し引き7735万4636円となりました。

◇議案第7号

平成21年度旭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について (認定)

歳入総額5095万7730円、歳出総額4519万9443円、差し引き575万8287円となりました。

◇議案第8号

平成21年度旭市水道事業会計決算の認定について (認定)

年度末の給水状況は、給水件数1万8736件、普及率は81・5パーセント、年間給水量は600万7747立方メートルとなりました。

決算額については、収益的収支において、事業収益は16億1720万5275円、事業費用は13億7919万435円、差し引き2億3801万4840円の純利益となり、累積欠損金は平成21年度で解消しました。

また、資本的収支は、収入7億6456万8900円、支出は12億6543万8462円となり、収支不足額5億86万9562円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

◇議案第9号

平成21年度旭市病院事業会計決算の認定について (認定)

病院本体の入院患者数は29万5567人、外来患者数は81万49人となりました。

決算額については、収益的収支において、事業収益は314億3485万9017円、事業費用は309億8080万1377円、差し引き4億5405万7640円の純利益となりました。



平成22年第3回定例会



工事が進む旭中央病院新病棟

円の純損失となりました。

また、資本的収支は、収入525万円、支出は2485万6108円となり、収支不足額1960万6108円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額並びに建設改良積立金で補てんしました。

補正予算

(平成22年度)

◇議案第11号

平成22年度旭市一般会計補正予算の議決について (可決)

歳入歳出にそれぞれ9億1200万円を追加し、予算の総額を278億5900万円とするものです。

歳入の主なもの、県支出金967万

3000円、繰越金8億9988万4000円、諸収入190万1000円を増額するものです。

歳入の主なもの、総務費の財政調整基金積立金等で7億3440万円、衛生費のがん検診事業、乳幼児医療費助成事業で1216万5000円、農林水産業費の水田農業構造改革推進事業、農水産物直売施設整備事業等で1681万4000円、諸支出金の病院事業会計繰出金で1億3545万4000円を増額するものです。

◇議案第12号

平成22年度旭市病院事業会計補正予算の議決について (可決)

収益的収支において、事業収益に1億3545万4000円、事業費用に6300万円をそれぞれ増額するとともに、資本的支出において、1億9740万円を減額するものです。

条例の一部改正

◇議案第13号

旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、消防法に基づく検査手数料等の額の改正を行うものです。

◇議案第14号

旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

国より通知された「住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令」の一部改正に基づき所要の改正を行うものです。

第3回定例会の日程

(開会)

9月1日(水)

- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・議案の上程
- ・提案理由の説明並びに政務報告
- ・議案の補足説明及び報告の説明

9月3日(金)

- ・議案の質疑

◇追加日程

〈討論・採決〉

- ・決算審査特別委員会設置・委員の選任
- ・決算審査特別委員会へ議案を付託
- ・常任委員会へ議案・陳情を付託

9月7日(月)

- ・市政に関する一般質問

9月8日(火)

- ・市政に関する一般質問

◇追加日程

- ・議案の上程
- ・提案理由の説明
- ・議案の補足説明
- ・議案の質疑
- ・常任委員会へ議案を付託

9月10日(金)

- ・決算審査特別委員会

9月13日(月)

- ・決算審査特別委員会

9月15日(水)

- ・建設経済常任委員会

9月16日(木)

- ・文教福祉常任委員会

9月17日(金)

- ・総務常任委員会

9月22日(水)

- ・決算審査特別委員長の議案報告
〈質疑・討論・採決〉
- ・常任委員長の議案・陳情報告
〈質疑・討論・採決〉

◇追加日程

- ・発議案の上程
- ・提案理由の説明
〈質疑・討論・採決〉

- ・事務報告

(閉会)

また、資本的収支は、収入43億6381万1000円、支出は69億1906万8567円となり、収支不足額25億5525万7567円は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

◇議案第10号

平成21年度旭市国民宿舎事業会計決算の認定について (認定)

業務実績は、宿泊者1万3095人、休憩者5906人となりました。

決算額については、収益的収支において、事業収益は1億7850万9257円、事業費用は2億3594万7386円となり、差し引き5743万8129

◇議案第15号

旭市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

神経精神科入院患者の積極的な自立支援を目的として、平成22年11月よりグループホームを設置するため所要の改正を行うものです。

その他

◇議案第16号

市道路線の認定及び廃止について

(可決)

南堀之内バイパス整備等に伴い2路線を認定、1路線を廃止するものです。

人事

◇議案第17号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

(同意)

現委員のうち1名が平成22年12月31日をもって任期満了となるため、後任の委員候補者を法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を求めるものです。

次の方が全員賛成で同意されました。

新任 熱田 みち子 氏(米込)

工事請負契約

◇議案第18号

工事請負契約の締結について (可決)

旭市立矢指小学校校舎改築工事について、一般競争入札を執行し仮契約を締結したので、本契約について議会の議決を求めるものです。

・契約金額 6億5412万円

・契約の相手方 旭市二の1469番地

株式会社 伊藤工務店

委員会提出議案

◆発議第1号

備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める意見書の提出について (可決)

◆発議第2号

国産農産物の生産者価格の大暴落を引き起こすEPA・FTA推進路線の見直しを求める意見書の提出について (可決)

報告

○報告第1号

平成21年度旭市土地開発基金の運用状況について

○報告第2号

平成21年度旭市奨学基金の運用状況について

○報告第3号

平成21年度旭市高額療養費貸付基金の運用状況について

○報告第4号

平成21年度決算に基づく旭市の健全化判断比率について

○報告第5号

平成21年度旭市公営企業決算における資金不足比率について

○報告第6号

株式会社千葉県食肉公社の事業経営状況

主な議案質疑

議案第1号

市税について、前年より減収の原因は何であったのか。

A

平成21年度決算における市税の収入済額については、69億8746万7909円で、20年度決算額と比べると2億303万8014円、2・6%の減となっています。

Q

個人市民税は、前年度と比べ1996万2372円、0・7%の減となっています。給与所得が増となったものの、営業所得、農業所得、特に株式等の譲渡所得が大幅な減となったことによるものです。

法人市民税は前年度と比べ6694万813円、14・2%の減となっています。景気低迷に伴う業績不振によるものと考えています。

固定資産税については、評価替えの年度であり、これに伴う家屋の減価が大きく影響し、前年度と比較し9104万2065円、3・1%の減となっています。市たばこ税の収入済額は、前年度と比べ2079万3841円、4・5%の減となっています。健康志向による消費量の減によるものと思っています。

都市計画税は前年度と比べ590万2222円、2・4%の減で、固定資産税と同様に、評価替えに伴う家屋の減価によるものです。



旭市立矢指小学校校舎完成予想図

について

Q 出会いの場創設事業150万円、婚活サポート事業補助金200万円の事業内容についてお尋ねします。

A 出会いの場創設事業は、若者の定住化、後継者の結婚対策等を促進するため平成19年度に設置しました。

旭市後継者対策協議会は、これを通称出会いコンシェルジュと呼んでいます。そこに対する補助金150万円で、平成21年度は、イベントの企画、会議を8回開催しました。また、出会いの場としてパーティーを15回開催し、男性170名、女性154名、計324名の参加をいただきました。

婚活サポート事業は、これも少子化対策の一環として、平成21年度の国の補正予算で新たに創設された安心子ども基金の地域子育て創生事業で、出会いの場創出事業をさらに充実させるために、追加して新たに行う事業に対し、国から200万円をいただいたものです。

事業内容としては、新たな取り組みとして、会員データベースの作成費用、パーティー開始前に実施する女性に対するビューティーレッスンの講師料、講演会の講師謝金などのほか、婚活ハンドブックの作成費用等に活用しています。

議案第11号

Q 農業振興費の農水産物直売施設整備事業のコンサルタント業務委託料435万8000円の詳しい内容をお示し願いたい。

A 道の駅等の設置推進構想について、現在、旭市道の駅等設置推進委員会を立ち上げて検討を進めています。

今回、専門的な知識を有するコンサルタントにお願いし、よりよい施設の整備計画を作成するために必要な経費を計上させていたいただいたものです。

委託の内容としては、地域の実情に合った必要機能の調査に基づき、施設のイメージ、概算の事業費、整備手法や管理運営体制等の検証を想定しています。

Q 商工費のふるさと雇用再生ふるさと商品ショップ運営事業として458万6000円について、明細にお答えいただきたい。

A 駅前『おあがん旭』に対する補正で、県のふるさと雇用再生特別基金を活用した事業です。雇用の場の創出、中心市街地の活性化策、地域産品のPRというようなことを目的として、商工会へ委託した事業です。

業務委託にあたり商工会と協議している中、雇用人数を3人から定休日なしの運営で、4人となりました。

また、バーコードによる委託販売の事務管理ができるPOSレジというシステムを導入したことなどから委託費が増となり、県と協議をした結果、補助金の増額が認められたので、補正するものです。

主な内訳としては、人件費の増が201万6000円、備品リース料の増が145万8000円などです。

なお、歳入については、ふるさと雇用再生特別基金事業費補助金458万6000円で、補助率は10分の10となっています。

00円で、補助率は10分の10となっています。

Q 教育総務事務費の旭農業高等学校の創立記念事業補助金は、何を基準に90万円出すことにしたのか。

A 生徒にかかわる事業予算として250万円あり、これに対して補助金90万円に決めました。この90万円の算出根拠は、本年5月1日現在の旭農業高等学校へ通っている市内の生徒数182名に対し、1人当たり5000円を目安として人数を掛けました。それで、端数を切り捨て90万円に決定したものです。

Q スポーツ振興事業100万円の補正ですが、率にすると3割アップです。この体育祭を、どのような計画でやっていくのか、その内容をお尋ねします。

A 主な内容については、地域を区分するゼッケン、それと、地区の選手、応援者の送迎バス、市民への啓発用のチラシ印刷と配布、参加賞の配布です。これを市民体育祭実行委員会へ追加補助金として交付するものです。

なお、全体の計画については、採点種目を13種目予定しています。参加予定数を各小学校区103名で1545名、オープン種目で7種目、参加者を590名、合わせて2135名の参加を予定しています。

また、エキシビションとして、小・中学校の吹奏楽、スポーツ少年団のリレー、アスリートの模範演技、おはやし、さらに、アトラクションでお楽しみ抽せん会

等も予定しています。

議案第18号

Q 契約された時点において、選任の技術監理者を求めていると思いますが、分かりましたらお願いします。

A 建築の技術者は6人です。このうち3人が監理技術者の資格を持っています。

Q 1市から、年間施工高10億円、半年で発注されているが、本当に施工できるのか。

A 個別の事業については、工期的には短いものがあり、既に終わっているものもあると思います。

また、技術者の人数を確保した中で、自分のできる工事のスケジュール、人員の配置を考えながらやられていると思います。

Q 不動産競売価格などの場合に、最低価格から1割か2割下でも落札できるという事があったと思います。最低制限価格を設けてあるが、そういうことは市独自ではできないのか。

A 地方自治法施行令第167条の10の2項で、最低制限価格と予定価格の間で、一番安い価格を入れた者を落札者とする法律の条文で書かれていますので、できません。



算査 決の審

決算審査特別委員会を設置 平成21年度の執行状況をチェック

決算審査特別委員会が9月3日に設置され、委員9名の選出とともに委員長に滑川公英議員、副委員長に景山岩三郎議員が選出されました。

決算の審査は、9月10日・13日の両日に、市執行部より副市長、教育長ほか関係職員が出席し、平成21年度一般会計決算をはじめ10議案の認定の可否について慎重な審議が行われました。

審査は一般会計から順次行い、それぞれの執行状況の細部にわたり活発な質疑が展開され、審査の結果、10議案とも認定することに決すべきものとして本会議に報告されました。

審査の項目は多岐にわたりましたので、その一部として主な審査内容を紹介します。なお、審議議案並びに委員会の構成は別表のとおりです。



決算審査特別委員会

主な質疑内容

議案第1号

Q 定額給付金事業について給付率99・4%と非常に高いが、市内で何人くらい受けられなかったのか。

A 平成21年2月1日時点での対象者数は7万299人、実際に支給された方は6万9836人、したがって463人が申請されておらず、受け取っていません。

Q 廃棄物収集運搬業務委託で、管内ありますが、これは何台の車両で回っているのか。また、焼却施設の改修工事が1億3000万円ほどありますが、主な工事内容をお尋ねします。

A 収集運搬車は、可燃4台、資源4台、不燃物1台の計9台です。

また、焼却施設改修工事の主なものは、誘引通風機の設備あるいは加圧ポンプ等の取り替え、噴射水排水管の取り替え等です。建設から17年程度経過しており、毎年1億円程度のオーバーホールをしていかないと危険な面があり、定期的に実施しています。

Q 老人クラブ活動促進事業520万9600円ですが、老人クラブの会員数が減っているということで、現在のどのくらいの老人クラブ数があり、クラブに対してどのくらいの助成がされているのか。

A 毎年老人クラブの数、会員も減少しています。21年度の状況は、76クラブで3064人の会員です。各老人クラブへはクラブ割として年間4万6000円、会員割として1人1500円で計算し交付しています。総体で約400万円を地元の老人クラブへ活動費として交付、あとは、連合会への主催事業、連合会の運営費としています。

Q 地域水産物供給基盤整備事業の漁場造成効果調査260万4000円の内容を教えてください。

A 漁場造成効果調査については県・国からもこの魚礁が本当に効果があるかということで、潜って水中で写真を撮って、そこで立証したということです。

Q 補助教員については、旭市は近隣の市町より大分充実していると思

います。各学校の担当者に話を聞いてみると、学校によって違いがありますが、もう1人くらい欲しいという意見もあり、今後の対応としてどのように考えているのか。

A 近隣の市町の中で、補助教員の制度を始めたのは旭市が最初であったと思います。児童・生徒数、それと学級数に応じた人員の配置だけでは、対応しきれなくなってきた面があります。

また、1人の子どもにもある時期、寄り添って指導をしてあげなくてはいけない場面もあります。その学級全体を先生方が指導をしていく場合、非常に難しい状況が生まれてくることは事実です。今後は、さらにこの事業を充実、発展させていきたいと考えています。

議案第2号

Q 非常に厳しい中、基金から多くの額が入っているようですが、21年度も22年度もこのような措置で、最終的に今現在どのくらいの基金が残っているのか。

また、これに伴って、保険税額の改定なども考えているのか。

A 基金の現在高は21年度末で1億7549万円ほどです。21年度の決算剰余金が2100万円ほどですので、その剰余金処分で1100万円ほど積み立て、現在、1億8600万円ほどの基金があります。

当初予算を組んだときは、2億4000万円ほどの繰り入れを22年度予定していたが、現状では1億8600万円なの



農業集落排水事業琴田地区クリーンセンター

決算審査特別委員会の構成

決算審査特別委員会委員は、各常任委員会（総務・文教福祉・建設経済）から3名ずつ選出された9名で構成されています。

委員長	滑川 公英（建設経済）
副委員長	景山 岩三郎（文教福祉）
委員	向後 悦世（文教福祉） 伊藤 房代（文教福祉） 平野 忠作（建設経済） 島田 和雄（総務） 伊藤 保（建設経済） 飯嶋 正利（総務） 大塚 祐司（総務）

決算審査特別委員会に審査を付託された議案

（議案第1号）	平成21年度旭市一般会計決算の認定について
（議案第2号）	平成21年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
（議案第3号）	平成21年度旭市老人保健特別会計決算の認定について
（議案第4号）	平成21年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
（議案第5号）	平成21年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について
（議案第6号）	平成21年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について
（議案第7号）	平成21年度旭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について
（議案第8号）	平成21年度旭市水道事業会計決算の認定について
（議案第9号）	平成21年度旭市病院事業会計決算の認定について
（議案第10号）	平成21年度旭市国民宿舎事業会計決算の認定について

で、足りない分は補正で対応しなければなりません。22年度中には現実的にはゼロになってしまい、足りない部分は一般会計から繰り入れをしなければならぬと思っています。

税の関係については、保険給付費の伸びなどを考慮して、算定しなければいけません。総合的に勘案して税を検討しなければならぬと考えています。

議案第5号

Q 介護保険特別会計の事業費が、34億1700万円。8・8%の伸び率ですが、今後の推移状況をお示しいただきたい。

A 65歳以上の高齢者の方が現在、約1万6500人で、平成26年度で約1万8000人、確実に10数%は増える形になっています。

家族に支えられていた介護が、今後どう

うしても厳しくなる状況になりますと、この動向として数値が、経済情勢で多少伸びが鈍化するなどはあるかもしれませんが、基本的な流れとしては今後も伸びると思っています。

議案第7号

Q 接続率が上がらない農業集落排水事業を、どのように進めていくのか。また、農業集落排水の今後をどのように考えているのか、お尋ねします。

A 市の一般会計からの持ち出しも、1人当たり相当の金額をいただいで運営しています。

担当課としては、多くの接続をしていただき、少しでも市からの繰り入れを少なくし、それと同時にメンテナンスをしっかりして、維持管理が多額にならないよう努めたいと思っています。

それと、現段階での区域のさらなる拡

大は考えておらず、区域中で接続率を上げることに努めていきたいと考えています。

議案第9号

Q 医業収益が2・1%増加した中で、医業費用が3・1%の増というところで、費用の増加が大きくなっている理由は何ですか。

A 7対1看護基準を23年度から実施する予定でしたが、1年前倒しして21年度において看護師の確保に努めました。

7対1看護に向けての看護師増を図ったことが大きな要因になっています。

議案第10号

Q 宿泊稼働率について、前年度と比較し15・4ポイント増加して40・8%になっています。この40・8%とい

う数字はどうか。

A

旧飯岡町時代の平成16年度の宿泊者は1万9271人です。1600人の定員で稼働率は33%です。21年度については、宿泊者が1万3000人で、定員が88人、稼働率は40・8%になります。あくまでも稼働率そのものについては、40・8%というのは、決して低いとは思っていません。

【第3回定例会】

一般質問

市政に関する一般質問は9月7・8日に行われ、12人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

道の駅の必要性は

道の駅

Q 農水商工業が連携し、地産地商の取り組みと情報発信機能を持った地域の拠点となる道の駅及び直売施設が必要だと思うが、市長の考えは。

A 旭市は何でもあるバラエティーに富んだ農水産物を擁しながらも、知名度はいま一つ、他産地に及ばないのが現状であると思います。

これら特産物の新たな需要を開拓し、農水商工業が連携した地産地商を推進していきたいと考えています。また、農水産業のみならず、拠点づくりによって、地域産業全体の活性化が図られると考えています。

そのためには、道の駅に代表される情報発信機能を持った地域の拠点施設と併せて、直売施設、レストラン、体験を備えた施設、ミニ遊園地等、交流の場の施設を整備したいと考え、地域の実情に合ったよりよい施設の整備のため、検討委員会より幅広く意見をいただいているところです。

キャンプ場の有効利用を

海上キャンプ場

Q 他市で貸し農園やキャンプ場などをそなえた農業のテーマパーク館が開業します。旭市でも海上キャンプ場を有効に利用して、道の駅とあわせて、



海上キャンプ場

ここに道の駅を持つてくることをぜひ考えていただければと思うが。

A ご提案いただいたことについては、単独の課では非常に難しく、関係課と十分協議していききたいと思っています。

利用者数は

パークゴルフ場



あさひパークゴルフ場

Q 平成21年度の市内及び市外利用者数は。

A 入場者数は、年間見込みをはるかに上回る3万5022人でした。

その内訳は、市内利用者が3万1231人、市外利用者が3791人です。

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介します。

◆大塚祐司議員

- 1 中央病院について
- 2 市政へのインターネットの有効活用

◆林七巳議員

- 1 旭中央病院について
- 2 インターネット光通信について
- 3 飯岡防衛庁について
- 4 飯岡西部区画整理について

◆平野忠作議員

- 1 道の駅等の設置推進について
- 2 あさひパークゴルフ場について
- 3 夏期観光の動向について

◆日下昭治議員

- 1 袋公園西側進入路、駐車場整備計画について
- 2 袋公園22年度計画について
- 3 瑕疵責任を問われ係争中の環境シンフォニック問題について

◆伊藤保議員

- 1 社会基盤の老朽化について
- 2 乳幼児紙おむつ給付事業について
- 3 子どもショートステイについて

◆高橋利彦議員

- 1 職員採用について
- 2 道の駅について
- 3 都市計画マスタープランについて
- 4 滝郷診療所について

コースの改造は

Q コースの改造は考えているのか。

A 市としては、まず3〜4年を一つの区切りと考えており、当面は現状の形態を維持する中で、コースの改造等は今後の課題と考えています。一方、利用者の増に伴い、コースの補修等の必要性も生じています。今後は利用者との意見交換も考えており、その中で緊急性のあるもの、段階的に改修するものなど、優先度を見きわめながら対応したいと思っています。

裁判の経緯と和解案は

裁 判

Q 係争中の環境シンフォニックについて、裁判の経緯と、これまでに和解案等の提示があったのか。

A 旧干潟町における一般廃棄物処理業の許可の取り消しに係る環境シンフォニックからの損害賠償は、訴訟となる以前に、市に直接2度の請求がありました。最初は、平成19年4月に2億5000万円余りの請求があり、市はこれに応じられない旨、回答しました。次に、平成20年6月1日に1億円余りの請求があり、これにも市は応じられない旨、回答しました。

これらの経過を経て、平成20年12月に



工事が行われている袋公園

袋公園の計画の遅延は

公 園

8600万円余りの損害賠償の訴訟が提起されました。以後、平成22年7月9日までに口頭弁論が12回開かれ、この期間中の平成21年9月3日の口頭弁論の中において、原告側が請求額を5900万円余りに縮減しています。

和解案は、平成22年4月23日の口頭弁論において、裁判所から提示されました。しかしながら、和解案については5月26日の口頭弁論において、応じられない旨の陳述をしました。

最初に2億5000万円ほど出たものをここまで努力してだんだん下げてきて、なるべく市に負担がかからないようにという事で我々もやっています。

検討委員会の目的は

滝郷診療所

Q 袋公園の22年度計画はだいぶ遅れているのではないかと。

A 事業認可もありますので、繰り越しにならないように最大限の努力をして、来年の桜まつりまでには完成させたいと思います。



滝郷診療所

Q 滝郷診療所のあり方に関する検討委員会は何を目的としているのか。

そして現在までの検討結果について、お聞きします。

◆滑川公英議員

- 1 行財政改革について
- 2 産業政策について
- 3 袋公園西側入り口事業について

◆木内欽市議員

- 1 キャンプ場について
- 2 食彩の宿いおか荘について
- 3 道路問題について

◆太田将範議員

- 1 国民健康保険について
- 2 予防接種制度と地域医療について
- 3 長寿祝金支給事業について

◆伊藤房代議員

- 1 高齢者の掌握について
- 2 児童虐待について
- 3 放課後児童クラブについて
- 4 子宮頸がん予防ワクチン接種の助成について

◆佐久間茂樹議員

- 1 入札について
- 2 旭中央病院新病棟について

◆向後悦世議員

- 1 市長の政治姿勢について

A

検討委員会に諮問しているのは、

1、滝郷診療所の役割について、2、滝郷診療所の機能について、3、滝郷診療所の運営について、4、前3号に掲げるもののほか必要な事項であり、現在、検討していただいているところです。



新病棟の安全性は

中央病院

Q 新病棟の基礎には杭が打たれていないと聞きます。新病棟が安全で十分安心できるものであることを証明していただきたい。

A 新病棟は、免震構造を採用しています。これは、地震力を免震装置により吸収して建物への影響を低減するものです。全体として、国土交通大臣の認定を受けており、阪神・淡路大震災相当地震度7の地震にも十分耐えられる建物となっています。



旭中央病院新病棟の免震装置

経営形態の考えは

Q 中央病院で起きている多くの問題を選択肢をなくし、なぜ、現在の経営形態である地方公営企業法全部適用の維持にってしまったのか。

A 黒字経営の中で再整備をやっています。経営形態については、結論がある程度出ているということ踏まえ、今のままの公設公営、そして地方公営企業法全部適用を、当分の間、今までどおりにやっていきたい。

地方独立行政法人の分類は

Q 地方独立行政法人というのは、公設公営、公設民営、民設民営、この分類に従うとするならどこに入るとお考えか。

A 分類的には、公設公営の分類に入っていると思います。

パソコンの紛失による情報漏えいは

Q 旭中央病院ホームページに7月26日付でパソコンの紛失とあったが、その後、どのように処理したのか。

A 平成22年7月21日に、病院の手術用物品管理システムを委託している業者の担当者が、出勤途中に車中のノートパソコンを盗難される事件が発生しま

した。患者の氏名、住所等の個人情報には含まれていませんでしたが、当該パソコンには、本来持ち出しを禁止している病院情報が入っており、結果的に病院情報が漏えいするおそれがあり、公表したところだ。

個人情報の管理は、病院として極めて重大なことであり、改めて情報管理体制をチェックするとともに、職員に対して個人情報に関する管理の徹底を図ったところだ。

光ファイバー通信サービスの進捗状況は

情報

Q インターネット光通信の進捗状況と今後の見通しは。

A エリア内すべての世帯がサービスを受けられる状況ではないため、市内全域に光ファイバー通信サービスを早期に提供されるよう、NTTなどの電気通信事業者に働きかけています。

今後の見通しですが、市からNTTに対して、要望として、実施するかどうかの決定について、実施時期を含め、年度内の回答をお願いしているところです。

社会基盤の老朽化の状況は

市有財産

Q 1950年代から60年代に造られたもので、市が管理する道路、橋



舗装の補修工事が行われる市道

梁、施設など耐用年数を迎えるものを伺います。

A 道路の舗装の耐用年数はおおむね10年です。ほとんどが耐用年数を超えており、今後、補修工事が急増する見通しです。舗装の場合、耐用年数が来て、すぐに舗装するのではなく、破損状況に応じて補修工事を行っています。

また、橋梁の耐用年数は50年が一般的です。市で管理している橋梁は307橋あり、建設年が判明している57橋のうち建設後50年を経過したものは1橋です。残りの250橋は、台帳等の不備があり、建設年が不明でした。

保育所の施設については、耐震補強が必要と診断された3保育所の補修工事を終了しています。

ワクチンの費用は

保 健

Q ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンについての効果、接種法、接種費用などの説明を。

A 細菌性髄膜炎の原因は、b型インフルエンザ菌、略してヒブが50%以上、肺炎球菌が約20%と分かっています。この二つのワクチンの接種回数は、月齢によって変わりますが、乳幼児期にそれぞれ初回に3回、追加で1回、合わせて4回の接種を行います。既に、外国では多くの国がワクチン接種を実施しており、髄膜炎の発症率、重症化率等は減少し、明確な感染予防効果が示されています。

接種費用は、任意接種であり全額自己負担で、ヒブワクチンは1回約8000円、肺炎球菌ワクチンは約1万円です。

乳幼児紙おむつ給付事業の状況は

福 祉

Q 乳幼児紙おむつ給付事業の利用状況は。

A 現在の支給人数は8月末で1238人、購入できる取扱店は市内で16店舗です。毎月、出生や転入等で50人程度の方が新たに申請している状況です。現時点で使用された購入券は9311枚、

金額にして931万1000円です。

児童虐待の件数は

Q 市には、どのくらいの報告が出ているのか。

A 児童虐待の相談があるケースは、病院、保健所、学校、保健センターの保健師、家族、親戚、近隣住民からの連絡や情報等があり、児童虐待の受付件数は、平成20年度で44件、平成21年度で16件となっています。

児童虐待への対応は

Q 警察や市の相談員などは連携を取り合っているのか。また、市ではどのように具体的に動いているのか。

子どもの虐待とは
親や親にかわる養育者が、子どもに対して行う以下の行為をいいます

分 類	例えば
身体的虐待	たたく、ける、つねる、なぐる、激しく揺さぶる、振り回す、噛む、しばる、水につける、火を押つける、首を絞めるなど。
性的虐待	性的暴行、性関係の強要。ポルノの被写体など。
ネグレクト (養育の拒否や放置)	食べ物やミルクを与えない、衣服をかえない、学校に行かせない、危険な場所に放っておく、医者に見せない、家に閉じ込めたりするなど、愛人などの子への暴力を見まがしにするなど。
心理的虐待	子どもの存在を無視する、おびえさせる、暴言をあびせる、ひどい言葉でなじる、無理じいするなど。子供のいるところでも繰り返されるドメスティック・バイオレンスも。

(「児童虐待の防止に関する法律」第2条児童虐待の定義から)

A 子育て支援課には3人の家庭相談員を置いています。この先生方は虐待の通報などがあつたときに、その家庭を訪問、または電話するなど、状況を把握して常に支援体制をとっています。

相談員は、常に同じ情報を共有し、児童相談所や警察など関係機関とも連携をとって対応しています。

また、平成18年2月に旭市要保護児童対策地域協議会を設立。児童相談所や警察、医療機関、学校、地域などと虐待に係るネットワークを構築しており、関係機関の連携で児童の支援を実施しています。

100歳以上の高齢者は

Q 100歳以上の住民登録をしている高齢者は何人いて、市の職員は何人に会っているのか。

A 市内で100歳以上の住民登録のある高齢者の方は、9月1日現在で20人、うち男性が4人で女性が16人です。

現在、旭市には103歳の方を最高齢として、101歳以上の方が18名います。この方々が、100歳を迎えられたときに、市長が直接お会いして、お祝いの言葉を申し上げています。また今年も民生委員が直接、家庭等を訪問して、長寿祝金を手渡ししていただくことになっています。したがって、会えていない人はいないと認識しています。

長寿祝金支給状況

地域別内訳（9/1現在）

	満80歳 人	満80歳 (特例) 人	満88歳 人	満88歳 (特例) 人	満99歳 人	満100歳 以上 人	合計 人	支給金額 円
旭 地 域	338	236	156	97	9	17	853	6,090,000
海上地域	87	56	43	25	1	2	214	1,475,000
飯岡地域	112	63	43	37	6	4	265	1,915,000
干潟地域	92	56	38	25	4	4	219	1,570,000
計	629	411	280	184	20	27	1,551	11,050,000

長寿祝金支給事業の支給者数は

Q 前年度と今年度の支給者数と金額は。

A 21年度の実績は人数で4840名、支給金額は2790万円です。22年度の支給予定は9月1日現在の人数で1551名、金額は1105万円です。

長寿祝金支給事業の見直しは

Q 長寿祝金を80歳以上のお年寄りに毎年全員に届け、所在を確認することを再検討しては。

A 長寿祝金支給事業は、これまでは80歳以上の高齢者全員の所在確認もできる事業でした。高齢者の所在確認が、現在、社会問題となっており、行政としても、高齢者の所在確認や見守りについては大変重要で、この事業は、そのための極めて有効な事業と認識していますが、今年改正した事業について、すぐ見直しをすることは現在考えていません。

採用試験の方法は

人事

Q 職員の採用にあたって学科試験はどのように行い、面接試験はどのようなメンバー構成になっているのか。

A 1次試験は、東総地区広域市町村圏事務組合を通じ、千葉県市町村総合事務組合で実施する合同採用試験に参加しています。

2次試験の面接は、志望動機や積極性、社会性、特技、資格、自己PR、表現力、判断力、態度等の項目について実施し、メンバーは副市長、教育長、総務課長、総務課職員班の主幹、それから消防職については消防長が入り、行っています。

飯岡海上 連絡道の計画は

道路

Q トネルを抜くだけで5億円、総工費15億円や16億円と言われているが、旧海上のときに直したトンネルを使えないのか。

A JRと交差するトンネル工事が多い額になるたびに、現在あるガードに向けての路線も計画してきましたが、前に走っている県道銚子旭線に、新たに南側に右折ライン、北側に左折ラインを設ける形となり、その場合は現在のガードも拡張が必要になります。さらに、ガードを造ったときに移転した住宅をまた移転することになるため、トンネルを新たに造る工事に計画せざるを得ない形になりました。

事業仕分けの考えは

行政改革

Q 事業仕分けを導入する自治体が相次いでいます。事業仕分けには、民間の目線、認識が絶対に必要だと思いますが、市長の考えを改めてお示し願いたい。

A 事業仕分けについては当面実施する考えはありませんが、行政改革アクションプランで計画した事業評価の導入について、試行的に取り組みを開始したところです。

事業評価の試行取り組みは、平成21年度主要事業の経費や実績を明らかにした上で、ニーズや効率性、公平性などから評価をしようというもので、当面、事業評価を確立し、事業の取捨選択や予算査定に生かしたいと考えています。試行中

の事業評価の中で、2次評価や3次評価で市民のチェックを受けることが望ましいと考えており、評価項目等が固まってきた段階で市民による評価を受けることを検討していきます。

車検整備について

Q 3年前、旭地区の管轄において働いていた車検整備事業者の是正を約束されたが、その後の経過、結果は。

A 平成20年9月30日に公用車の車検について、一定の業者に偏らないよう自主的な調整を各課にお願いし、その後、自主的な調整では難しいことから、21年1月に市内65業者に車検を満遍なく出せるように各課に依頼しました。

入札方法は

入札

Q 建設工事の入札方法と最低制限価格、落札者の決定方法について、お聞きます。

A 平成22年6月から、原則として130万円以上の工事は電子入札を実施しています。

最低制限価格は、地方自治法施行令第167条の10第2項の規定に基づく制度で、広く地方自治体で取り入れられています。今年4月から旭市でも最低制限価格を設けることになり、土木は予定価格の70%、建築は80%という基準を決めた



入札が行われて工事が進む01-032号線

都市計画マスター プランの予算は

まちづくり

Q 都市計画マスタープランの策定期間と予算は。

A 策定については、平成19年度から3ヶ年計画で策定してきました。マスタープラン策定委託料は、3ヶ年間で2742万6000円です。

双葉住宅の今後は

市営住宅

Q 今後の双葉団地について、どのように取り組むのか。

A 4階建ての住宅については耐用年数が70年で、まだ30年以上期間が残っており、順次直しながら使っていく方針です。木造平屋については空いたとしても、すぐに違う住宅を建てることは非常に難しいと思います。

飯岡地区には、双葉団地（中層耐火）24戸と下永井住宅16戸、県営住宅の66戸があり、100以上の公営住宅が存在しています。市全体の公営住宅を見ても、



飯岡地区の双葉団地

今後の経営はどうするのか

近隣の市と比べて多いという状況もあるため、木造の老朽化したところは一部取り壊していく方針を立てざるを得なく、新たに市営住宅を建てることは難しいと思っています。

いいおか荘



食彩の宿いいおか荘

Q 食彩の宿いいおか荘を残すのであれば、毎年5・6千万円の赤字は覚悟で施設を直しながらずっとやっていくのか。または民営化や、ほかの手立てを考えることが必要になってくると思うが、市長の考えは。

覚悟で施設を直しながらずっとやっていくのか。または民営化や、ほかの手立てを考えることが必要になってくると思うが、市長の考えは。



おあがんな旭

おあがんな旭の実績は

商 業

A 大変な問題であり、いろいろ皆さんの知恵を借りながら、いい方向へ持っていかなければと思っています。市民の皆さん方に利用していただくという発想で今年9月から始める市民感謝デー、レディースデーなどのプランを計画し、また宴会の割安料金も設定しました。今後、3月の決算期を見て、総合的に考え、改善の余地があるのか判断していきたいと考えています。

Q 雇用促進・空き店舗対策・旭市の特産品PRとしてオープンした、おあがんな旭の2ヶ月間の実績とよいところ、悪いところは。

A ふるさと産品ショップ駅前市場おあがんな旭の来店者数は、63日間

進捗状況と今後の状況は

土地改良

Q 飯岡西部地区土地改良事業は、現在どのくらい進んでおり、今後どのようにしていくのか。

A 現在の同地区の同意率は96・1%ですが、県の指導の中で、換地原案のスムーズな作成のためには98%以上の同意が求められているところです。

今後の予定は、換地原案をスムーズに進めていくためにも、事業参加者の本同意率を限りなく100%に近づけることが最重要課題と考えています。今後、地元工区の役員、大利根土地改良区、市等、関係機関が一体となり、同意率向上に鋭意推進したいと考えています。

常任委員会の審査

建設経済常任委員会

9月15日(水)午前10時より本委員会が開催され、付託された2議案及び陳情2件の審査を行いました。

議案第11号平成22年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「農林水産業費の農水産物直売施設整備事業コンサルタント業務委託料435万8000円について、まだ場所が決まっていらない中で、何を委託するのか。」との質疑では、



オライはすぬまで説明を受ける建設経済常任委員会

「コンサルタントへの委託については、場所よりも先に、旭市が何を求めるのか、その基本的な部分を重要と考え、旭市の条件に合った整備計画や施設のイメージ、あるいは必要な機能や場所なども含めて提案をいただき、コンサルタントの意見と検討委員会の意見を併せながら、施設の建設を進めていきたいと考えている。」との答弁がありました。

その他、質疑を尽くし審査の結果、議案第11号は賛成多数で、議案16号は全員賛成で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、継続審査となっていた陳情第9号備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める陳情、陳情第10号国産農産物の生産者価格の大暴落を引き起こすEPA・FTA推進路線の見直しを求める陳情の審査では、「農業者を守らなければならぬ。」との意見が出され、審査の結果、陳情第9号及び陳情第10号は、全員賛成で採択と決しました。

委員会の審査終了後、山武市の道の駅オライはすぬなどを視察しました。

文教福祉常任委員会

9月16日(木)午前10時より本委員会が開催され、付託された4議案及び陳情1件の審査を行いました。



文教福祉常任委員会

の審査では、「旭市立矢指小学校校舎改築工事の参加資格の要件について、過去10年に主たる構造が鉄筋コンクリート造りで延べ床面積1500平米以上の工事を元請として施工した実績がある者と公告しているが、受注された業者については、この要件を満たしていないのに参加できた理由は何か。」との質疑では、「市内の業者については、過去10年に新たに建設された公共施設というのは非常に少なく、この要件でいくと市内の業者がほとんど参加できなくなってしまうことから、資格審査委員会の中で議論し、参加資格要件のただし書きを適用して、若干の緩和で入札を実施した。」との答弁がありました。

また、「旭市立矢指小学校校舎改築工事の工期が平成23年3月31日となっているが、この工期で大丈夫なのか。」との質疑では、「現在、国との交付金等の繰越承認を受けているところで、その承認が受けられ次第、工期を平成24年1月31日まで延長する予定である。新校舎の予定については、来年の8月くらいを目安に完成させて、その後、現校舎を解体したいと考えている。」との答弁がありました。

その他、質疑を尽くし審査の結果、議案第18号は賛成多数で、その他の3議案については全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、陳情第11号、最低基準の改善と待機児解消・定員増実現のために公立保育所への特定財源の復活などを求める



消防署海上分署を視察の総務常任委員会

総務常任委員会

9月17日(金)午前10時より本委員会が開催され、付託された3議案の審査を行いました。

意見書の提出を求める陳情の審査では、「陳情の趣旨に待機児童の解消や定員増実現とあるが、当市においては、入所率86・8%で、既に定員割れが生じており、待機児童解消のための施設整備は必要なのではないか。」との意見が出され、審査の結果、賛成多数で不採択と決しました。

委員会の審査終了後、特別養護老人ホーム白寿園、やすらぎ園、東風荘の施設及び入所状況について視察しました。

陳情の審査結果

第3回定例会では、陳情3件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区 分	件 名	審査結果
陳情第9号	備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める陳情	採択
陳情第10号	国産農産物の生産者価格の大暴落を引き起こすEPA・FTA推進路線の見直しを求める陳情	採択
陳情第11号	最低基準の改善と待機児童解消・定員増実現のために公立保育所への特定財源の復活などを求める意見書の提出を求める陳情	不採択

議案第14号旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定についての審査では、「火災警報器の設置については、旭市では42%と低い設置率になっているが、市の広報紙も利用して啓発してはどうか。」との質疑では、「啓発等については、広報紙『しようぼうだより』に随時掲載して市民の方に理解を求めるようにしているが、市の広報紙にも掲載をお願いして普及に努めていきたい。」との答弁がありました。

その他、質疑を尽くし審査の結果、3議案とも全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、消防署海上分署などを視察しました。

市 議 会 の し く み

市議会とは……

市議会は、選挙で選ばれた議員が市民の代表となって市長や行政と話し合いをするところです。例えば、市の予算や仕事の方針を決め、行政の仕事が正しく行われているか調査し、意見を述べます。

市議会は、通常3月、6月、9月、12月の年4回開かれ、これを定例会と呼んでいます。必要があれば臨時会が開かれます。

議案



市長や議員が、予算や条例などについて提案します。これを基にして話し合いを行います。

市議会の流れ

本会議



市が行うことを決定する会議です。市の計画や仕事を行うかどうかを多数決で決めます。

議決



本会議で可決された議案は市長へ提出されて実行されていき、よりよい旭市がつくられていきます。

請願・陳情



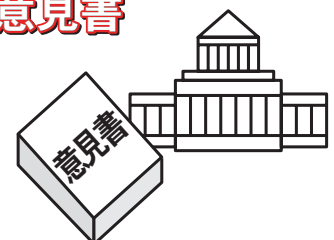
市民の方々から直接市議会へ提案される要望です。これが各委員会で話し合われます。

委員会



仕事の分野別に担当の議員を決めて専門的に話し合いをします。各委員会で専門的に調査し意見を出し合って賛成反対を決め、本会議に報告します。

意見書



市だけでは解決できないものを国や県などに提出して、話し合ってもらいます。

議会を傍聴しませんか

第4回定例会は11月26日(金)から行われています。

議会開会中は、議会を傍聴することができます。一般質問は12月2・3日に予定しています。希望される方は、市役所3階までおいでください。

なお、市役所本庁と各支所ロビー、海上・干潟公民館、飯岡福祉センター、総合体育館のテレビで、本会議の様子は放映しています。

また、市ホームページでは議会ライブ中継しております。ご利用ください。

平成22年本会議傍聴人数

定例会	一般質問	その他
第1回(3月)	57人	4人
第2回(6月)	50人	3人
第3回(9月)	42人	4人

詳しくは議会事務局へ

☎ 6215304 FAX 6215384

あさひ議会だより

第17号の訂正

訂正し、お詫びさせていただきます。

P7 主な議案質疑(2段目)

議案第1号

旭中央病院アクセス道整備委託料

(誤) 15億5043万円

(正) 1億5504万3000円

議会のうごき

平成22年6月11日以降の

議会のうごき

〈6月〉

- 旭市いいおか港・水産まつり2010
- 旭市観光協会主催フォトコンテスト表彰式
- 旭市老人クラブ連合会第三回パークゴルフ大会
- NPO法人旭市手をつなぐ育成会第35回平成22年度定期総会
- 旭市老人クラブ連合会海上支部平成22年度第1回グランドゴルフ大会
- 北総東部土地改良区40周年記念式典
- 第50回海匠支部消防操法大会



あさひ砂の彫刻美術展を盛り上げる花火

- 平成22年度旭市夏期観光安全対策連絡会議
- 平成22年度旭市防犯組合連合会総会
- 駅前市場「おあがんな旭」オープン式典

〈7月〉

- 第3回旭市長杯争奪パークゴルフ大会
- 第54回式年鑑子大神幸祭写真コンクール表彰式
- 第31回チャリティー東総歌謡発表会
- 平成22年度矢指ヶ浦・飯岡海水浴場安全祈願
- 旭市宮飯岡海浜ブル安全祈願祭
- 2010ミス七夕コンテスト審査
- 第16回千葉県こども合唱フェスティバル

- あさひ砂の彫刻美術展2010オープンイベント
- 第46回千葉県消防操法大会

- 平成22年度新川改修促進期成同盟会定期総会
- 特別養護老人ホームやすらぎ園納涼盆踊り大会

〈8月〉

- 特別養護老人ホーム東風荘納涼祭
- 天の川ライブフェスティバル第6回旭市民音楽祭
- 第56回旭市七夕市民まつり
- 平成22年度第6回旭市PTAバレーボール大会開会式
- 旭市立第一中学校屋内運動場起工式
- 旭市老人クラブ連合会海上支部平成22年度芸能発表大会
- 平成22年度旭市総合防災訓練

編集後記

一般質問では今回初めて「道の駅」の話題が出ました。

現在委員会にて検討中ですが、作るのであれば旭の農畜水産物の情報発信の拠点として成功させなければなりません。

その他、「飯岡海上連絡道路三川蛇園線」「環境シンフォニック問題」「滝郷診療所」「乳幼児紙おむつ給付事業」「長寿祝金支給事業」など市民に関心の高い多くの話題が取り上げられました。これからも委員一同、市民の声を市政に反映させたいと思います。

(委員・大塚 祐司)

旭市議会だより編集委員会

委員長 伊藤 房代
副委員長 宮澤 芳雄
委員 島田 和雄
委員 大塚 祐司

